

こうふ町 議会だより

くらし 新しい生活を 江府町で始めよう

補正予算等

所管事務調査4～9P
地方行政調査10P～11P
一般質問12P～13P

議会のことをわかりやすくお伝えします

一般会計予算総額 56億2,290万円

12月 定例会
11月 臨時会

令和5年12月定例会は、5日召集され14日までの10日間と定めて開かれました。

令和5年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例改正等9議案が提出されました。提出議案の一般会計補正予算(10号)については、反対・賛成討論が行われ、賛成7、反対1で可決され、その他の議案についても慎重審議された結果、いずれも原案通り可決しました。6日の本会議では、2名の議員が一般質問に立ち、活発な議論が展開されました。

補正予算

一般会計(10号～11号) 歳出の主な内容

用地購入費(防災センター駐車場).....	409万円 増額
保守委託料(システム改修).....	750万円 増額
地方創生推進交付金事業業務委託料(佐川移住定住事業物価高騰)...	320万円 増額
店舗移転支援補助金.....	100万円 増額
生活困窮者エアコン等光熱水費助成金.....	420万円 増額
任意接種委託料(带状疱疹ワクチン).....	272万円 増額
農業総務業務委託料(農村型地域運営組織形成推進事業).....	350万円 減額
農村漁村振興交付金(農村型地域運営組織形成推進事業).....	1,000万円 減額
除雪費.....	2,289万円 増額
橋梁工事請負費.....	3,000万円 減額
渡航負担金(グローバル人材育成事業(江府学園社会学習・ニュージーランド))	693万円 増額
給油等助成券配布事業補助金.....	1,237万円 増額
生活支援臨時特別給付金.....	2,800万円 増額

討論要旨

森田 哲也 議員

反対討論 江尾駅前の本屋への改修関係予算については、買物難民対策を優先すべきであり、町民の民意を反映していないと考えられるため、予算の再編成が必要として反対である。

川端 雄勇 議員

賛成討論 本補正予算は、生活困窮者への助成、生活支援給付金、除雪費等、住民生活に直結した補正予算であり、また江府学園生の要望によるコミュニティスペースの確保等を考えると、この補正予算は必要であり、賛成である。

補正予算

11月臨時議会

11月28日開催され、一般会計補正予算、条例改正が提案され、原案通り可決されました。

一般会計(9号) 歳出の主な内容

人事院勧告に伴う条例改正による人件費の増額 予算総額 3,987万円 増額

令和5年第4回日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告

令和5年11月28日に江府町役場議場にて定例会が開催されました。

主な日程として議案第8号、会計補正予算（第2号）が上程され可決されました。

内容は次の通りです。

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,205万円を減額し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ21,510万円とするものです。

その他には、総務常任委員会、長岡邦一委員長より地方行政調査報告がなされました。

内容は次の通りです。

1. 調査事件：「ごみ処理施設について」
2. 調査対象：「鳥取県東部広域行政管理組合可燃物処理施設リンピアいなば」
3. 調査期間：令和5年10月26日
4. 調査目的：今後におけるごみ処理広域化、施設の集約化により生ずる課題解決に向け参考とするため
5. 考 察：視察施設は、安全性、効率性、災害時対応、廃棄物処理量の将来推計などを十分に考慮し決定されていたが、日野郡3町と米子市に計画の西部広域処理施設には相当の距離があり、本件とは単純に比較はできずとも、郡内の既存処理施設の在り方も含め今後検討する必要がある。（要旨）

以上の報告がされた後、岡本健三議員の「くぬぎの森について」の一般質問がなされ、その後本定例会は終了しました。

日野病院組合議会報告

日野病院組合議会は令和5年11月17日、日野町議会議場にて開催し病院事業会計補正予算が上程され可決しました。

概要は以下の通りです。

令和5年度日野病院組合病院事業会計補正予算（第2号）については、収益的収支において、20万円（人生100年時代づくり・地域創出ソフト事業交付金）増額されました。これは自治体立優良病院表彰にかかるものです。

その他、議案以外に以下のような協議及び報告事項が討議されました。

1. 直近の経営状況について（9月末）
2. 日野病院経営強化プランの策定について
3. 令和5年度人事院勧告に基づく給与改正について
4. 日野郡3町による小児科医共同雇用について

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、12月定例議会で審査した結果、下記のとおり決定しました。

受理番号及び受理年月日	件名及び要旨	提出者	付託先	審議結果
陳情第11号 令和5年 11月17日	「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金引き上げを求める意見書」の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	教育民生常任委員会	採 択

採択理由：保育現場の厳しい状況をふまれば、改善は迅速に行われるべき。また、保育士の確保のためには賃金引き上げ等の改善も必要と考える。

総務経済常任委員会

所管事務調査報告書

調査日 令和5年10月31日

調査内容

(現状及び考察)

奥大山地美恵

① 令和5年4月から9月末の捕獲頭数(処理頭数)について

○イノシシ56頭、シカ31頭で総捕獲頭数は87頭であった。今後においては、イノシシよりシカの捕獲数が多くなると予想している。

② 令和4年度の売上について

○当初予算に対し、順調に推移し決算額は倍増した。

③ 人員と会員数について

○会員数は、高齢化もあり16名で減少傾向にある。今後は、人員体制を強化再構築する。

④ 残渣について

○作業において発生する残渣については、

今年度からくぬぎの森で処理を行っている。

考察

1日の処理可能頭数は最大4頭で、捕獲後の保管施設の改修が早急に必要である。さらに高機能な保管用冷凍庫を設置する為には町の支援が必要と思われる。

旧米原分校

① 令和4年度利用状況について

○BMX大会参加者を含め年間486名であった。

○上記大会を開催するのに、県の補助金約80万円を申請し、運営を行っている。

② 利用者の内訳等について

○年齢層は3歳から50歳代までと広範に

渡り、初心者の方をはじめプロフェッショナルの方や、中にはオリンピック選手の方も見られた。

③ 施設(コース)の安全管理について

○3か月に1度コースの総合点検を行い、半年に1度コースを全て解体し、ビス、コンパネ等の交換を行っている。

④ 利用者の衛生環境について

○大規模大会開催時

は、屋外仮設トイレを設置したが、女性については、大多数が小江尾地内のコンビニエンスストアを利用された模様である。

考察

令和5年10月7、8、9日にBMX大会を開催した。町外、県外、国外の選手を含め来場者約250名が参加し、賑わいを見せた。競技の性質



屋外コース(旧米原分校校庭)

上、施設(コース)でのケガ等が懸念されるため、今後、施設全体(観客席など含む)の安全管理を一層徹底し、事業を実施されたい。大会の参加者の中で、町内の旅館を約10組が利用し、経済効果がみられた。さらに屋外コースの利用促進を図るため、ナイター設備で夏季大会の開催を図る計画がある。冬季大会では、徐雪対策も検討されたい。

今後においても、大会参加者の増大、施設利用者の促進に努められたい。又、施設のトイレ改修等も必要で、宿泊施設など地元周辺集落と協議するなどし、併せて町の協力も必要であること考えたい。

佐川住宅等 整備事業

① 移住促進住宅(佐川第2団地)の進捗状況について

○令和5年10月末時点の1月中の入居予定者については、半数が決定している。今後3月から4月にかけて入居希望者が増えると想定している。

○令和5年12月には、竣工式典の開催を予定している。

② 地域交流拠点施設の進捗状況について

○当初のスケジュール通りで進んでいる。11月以降、維持管理運営の契約と賃貸契約を締結予定で、令和6年4月オープンで、3月に竣工式典の開催を予定している。

③ 工場内の安全対策、工事中の配慮について

○工事現場外へ工事車輛の駐車場を設け、場内の混雑を緩和し、事故防止に取り組んでいる。

④ 地元経済への貢献について

○隣地に保育園建設計画があり、エリア周辺の活性化を目指している。

○事業共同企業体に地元企業が参加している。
○飲食に関して地域内店舗を極力利用している。

考察

10月末時点の入居予定者は50%であり、春には100%の入居を達成されたい。

今後、佐川第2団地周辺には、保育園など多数の施設建設の可能性があり関係人口の増大や、車両

の増加が見込まれ、近隣の道の駅等や国道181号線とも相まって交通の混雑や危険が予想される。横断歩道の設置を始め安全環境の充実には十分配慮されたい。

旧老人福祉センター

① 改修に至った要因とその状況について

○施設全体の老朽化もあるが、突風・豪雪・大雨等の影響で、雨漏りが見られ、早急な屋根改修工事が必要となった。当初予算5,918万円で工事途中80万円を増額し、ガルバリウム鋼板を用いた屋根改修工事を行った。

考察

工事施工において、工事に至った要因と

箇所は複数現認されたが、今後において予備設計により事前調査を十分に行い、設計施工に反映されたい。又、施設全体の老朽化も懸念されるが、施設内の照明については、計画的にLED化を検討されたい。

神奈川地区 複合施設 (旧JA神奈川支所)

① 事業目的について

○当初の事業目的は、企業ビジネスを中心に考えていたが、今後は、地元住民の利用促進も含めた施設にしていく。

② 当初の設計について

○予算内において、設計どおりの建物になっている。一部、屋根の雨漏りについては、箇所修繕で終

えている。

③ 駐車場の確保について

○地元住民からの要望であった駐車場確保について、実施に向け用地取得も含め準備進行中である。

今後は、地権者、関係施設と十分な協議を重ね設計・施工を進めていく。

考察

建物について一部

要改修箇所が見られた。消防設備、避難階段の設置、窓ガラス交換、屋根改修、屋外壁の塗装など、長く施設が利用できるよう早急な改修に努められたい。又、各部屋のエアコンの設置場所など利用者優先に考えるべき点もあり、是非とも今後の参考とされたい。



神奈川地区複合施設名称(なないろサロン)

教育民生常任委員会

所管事務調査報告書

調査日 令和5年11月9日

調査内容

(現状及び考察)

子供の国保育園

①園児の保育状況、来年度以降の保育数の予想状況について

○令和5年10月1日現在、年長児が15名、年中児が9名、年少児が15名、未満児が30名となっており、園児数は69名である。○職員全員が、園児一人一人に対して保育方針を協議し、対応を行っている。

②保育士の充足状況について

○正職員は6名、会



狭い車寄せ場

計年度任用職員9名、パート2名、夕刻の職員2名で構成している。職員数の配置規準は、満たしている。

③登園、降園の状況について

○園内は内側から施錠を行い、外部からの侵入者にも対応を取っている。

○現在、登園拒否の園児はいない。

④現在の保育園状況の不満点及び要望点について

○駐車場が狭いため、職員は数台の車を園内に入れており、玄関前が狭くなっている。

○保護者の送迎時にも車寄せ場周辺が狭く、事故の発生こそないが事故になりかけた事例が数回ある。

○久連橋が非常に狭く、保護者の送迎時には一方通行を実施していただいている。

○新しい保育園への不安はあるが、期待も大きくなってきた。遊びと賡のできる環境の保育園を造りたい。

考察

新しい「保育園らしくない保育園」の計画もどんどん進んでいるが、園児にとっても保護者にとっても安心安全な保育園であることを望む。加えて、現在7時30分からの開園であるが保護者より7時からの開園の要望があれば対応を望む。

奥大山江府学園

①今年度児童生徒の状況と今後の予測状況について

○今年度の児童生徒は120名、6年度は125名であり、その後120名前後で推移し、令和12年度には105名と極端に減少することが予測される。

②今年度の職員の状況について

○今年度の職員数は42名となっている。

○前期課程（1年生から6年生）で教科担任制を推進し、後期課程（7年生から9年生）で各教科の教科指導の充実を図るために、県費負担職員数として、この人数が最低限必要である。

○町職員については、学校の現状を理解頂き、ここ数年で

充実を図っている。

③来年度以降の職員、会計年度任用職員に対する要望について

○県費職員については、各種加配を含め、少なくとも現状維持をお願いしたい。

○町職員についても、今年度と同様の配置をお願いしたい。特に、ほとんどの職員を常勤としており大変ありがたい。また、引き続き本校が施設分離型であることを前提として、職員配置を考慮していただきたい。

④現体制のメリット・デメリットと思われる事項について

○メリットとして5年と6年の間に適度な段差があり、6年が一足早く中学校的な生活を経験できる。

○5年がブナの森校

舎の最上級生を経験できる。

○9つの学年が触れ合うことで、上級生に対する「あこがれ」や下級生に対する「やさしさ」を育むことができる。

○デメリットとして、外部との関わりが煩雑（小学校、中学校の枠で対応が必要）であり、校舎が分かれているので、職員が日常的に直接会うことが難しい。

○全校行事等は移動の手段が発生する。（バス代等の予算化はありがたい）

⑤ 新体制移行後の不満点、要望点について



流れの悪い和式トイレが多い

○町営バスの運行について、部活をした生徒のための部活便の運行はありがたいが、通常運行便との関係上、18時40分学校発となり、他校に比べ下校が遅くなっている。

○学校現場でもDX化を推進していくことが必要である。ICT機器は常に機能向上が図られており、タブレット端末機器等の更新やモニター等の新規設置等は今後とも予算化をしてほしい。

考察

江府学園の体育祭は、1年生から9年生が一緒になって競技や演目を行っており、素晴らしく心に残るものがあった。今後も感動を与え続けられることを望む。ブナの森校舎のトイレ

の要望は、圧倒的に洋式が多いにも関わらず現状は和式が多いため改修を図りたい。併せて、排水口からの臭気対策も望む。また、夜遅くまで職員室に電灯が灯っていることが散見される。業務の効率化も含め、必要に応じて現場体制の改善を要望する。

俣野診療所

① 前年度と今年度の利用者状況について

○令和5年9月までの比較では前年度188名であり、今年度は196名となっており、新型コロナウイルス感染症への対応が5類に移行されたことが、増加の要因として考えられる。

○俣野ふれ愛学舎としての利用も、鳥取大学医学部などの実

習や講座が非常に多くなっている。

② 今後想定される利用状況について

○今後新型コロナウイルス5類移行後に、医療人材育成拠点施設としての利用が再開し、今後さらに多くの鳥取大学関係者が来場すると思われる。

○鳥取大学の地域医療学講座との連携協力をさらに強化する。

③ 現時点における不満点と改善策及び要望事項について

○次年度にクラウドファンディング（令和6年度予算計上予定）を利用して、施設全体の改善をした

い。

○地域医療人材育成施設としてのさらなる環境整備をしたい。

④ 俣野診療所の今後における利用推進策の提案について



俣野診療所待合室

○診療は俣野診療所で、検査は江尾診療所、処方箋はおしどり薬局（おしどり薬局は俣野診療所に配達あり）と固定化されつつある。

○医師、看護師、事務員が各1名いるので、処置室及び点滴室を整備することにより、多くの人に来ていただきたい。

⑤ その他不安点、不満点、要望点について

○要望としてインターネットが利用できるように環境整備、ト

イレや流し台の設備改善が必要である。

考察

俣野診療所と俣野ふれ愛学舎を含め、学生や若年者が多く集う場所であるにも関わらず、インターネット環境が整備されていないことは致命的である。また、流し台やトイレの不具合の解消も急がれる。また、体育館の雨漏りなど損傷も見られ、今後の検討が必要と考える。

調査日
令和5年11月26日～27日

所管事務調査報告書

島根県 大田市

石見銀山大森地区

調査日
令和5年11月26日

大森地区の まちづくりについて

石見銀山遺跡と 大森地区の概要

16世紀に先進的の精錬技術「灰吹き法」を取り入れ高品質の銀が大量に生産され、東南アジアからヨーロッパへと東西経



(株)石見銀山群言堂グループパンフレットより参照

済・文化交流が行われた。大森地区は、江戸時代の武家屋敷や代官所跡、石見銀山で栄えた豪商・熊谷家住宅など歴史的建造物や文化財が、当時の面影を今も残している。そうした中、古民家等を利用した現代的なファッションの洋服店や、大学生が経営している本を読めるカフェなど古い物と新しい

物とがうまく融合してある。この町づくりの仕掛け人の松場登美・忠夫妻のこの町での暮らしや生き方、ライフスタイルに触れる体験

こそが観光という、考え方によるものが大きい。不思議な空間が形成されている。まち全体の風景は、地域住民が一体となって守り受け継がれてきた町並みで、伝統文化や生活と暮らしに触れ合うことが出来る観光地区となっている。

考察

大森地区のまちづくりには、楽しみながら空き家を活かした暮らしや、昔から引き継がれた伝統文化とうまく融合させていく暮らし方が基本にある。本来、観光産業は文化を守るためにあるという考え方など、江美城や江尾十七夜・こだいち踊りなどを引き継ぎ守ってきた江尾地区や江府町のまちづくりには大いに参考



(株)石見銀山 生活観光研究所HPより参照

にすべき点があった。また、観光ガイドでも、喫茶店の方や町の商店の方が、分かりやすく案内されるなど自分の町を理解し自信を持っておられるなど、今後の本

町の観光行政やまちづくりの指針を研修できた。本町でも地域住民の方や町民誰でも地域の観光案内が出来るようになれば理想的であると考えられる。

教育民生常任委

島根県 益田市

社会福祉法人ほほえみ
福祉会真砂保育園(私立)

調査日

令和5年11月27日

保育園らしくない
保育園づくりについて

益田市と真砂保育園
の概要

益田市は、人口43,790人面積733.19km²で農業と漁業が中心である。真砂地区は、世帯145世帯・人口303人、高齢化率は53.5%の農林業が中心の山間地区である。益田市の保育園数は28園あり、27園が私立、1園が公立である。真砂保育園は、近年新設された真砂小学校校舎の中にある。園児数は15名で園長1名・保育士5名と調理師1名・子育て支援員1名とで午前7時から



保育園児が作ったまちしらべ地図

午後7時まで開園している。小学校校舎には地区の診療所もある。

当園の大きな特徴は、活動の基本は戸外で行い、日々、自然と地域の皆さんと触れ合うことで身体と心を育む里山保育である。地域の皆さんとの会話ややり取りの中から「見守られている」「感覚を身体と心で感じ、安心感・信頼感を培っている。既製の玩具は極力取り入れず、自

分で考え工夫して遊ぶ。室内での保育は基本的になく、学習は、自由時間に園児が自主的にして、それを保育士が補助する形式をとっている。

は、地域全体が保育園であり、地域住民が保育士であるというもので、地域住民とも連携を取り合い、また、住民もその方針をよく理解して対応できている。こうした体験から、他の保育園児より、体幹が強くなったり、人に対してのコミュニケーション能力が養えたりという効果が見られている。

考察

本町の新しい保育

園に関するワークショップでも、本町の自然を活かした保育への要望が数多く聞かれた。また、子どもを伸び伸びと育て、たくさんの人とコミュニケーションが取れる子どもに育てたいとの要望も多かった。真砂保育園の自然とそして地域の人々と子どもが主体的に関わり合い、その中で身体と心を育んでいく保育指導は、本町のこれからの保育理念であると考えられる。そして保育

士が連携を取りながら、それぞれ主体的に指導をしていく職場環境も整えられていた。

そこには保護者と子ども、地域住民や保育士の信頼関係も確立されていた。施設の充実も大切であるが、やはりこうした環境づくりが、何より大事であると改めて感じた。保育園らしくない保育園を目指さず本町の保育政策には大いに参考になると考える。



査特別委員会

調査日
令和5年11月13日～14日

栃木県 藤岡町

認定こども園ふじ
おか幼稚園(私立)

調査日

令和5年11月13日

幼稚園の概要

敷地面積、8,956㎡、園児190名、10クラス、保育士50人、子どもの立ち上がるチカラを重視し

た運営が行われている。

特徴ある保育・施設

ふじおかメソッドの、やりぬく力・やる気・自中心・協同性・社交性を基に2つの円形の園舎で異年齢保育を意識した保育が行われている。施設設計段階から保

育方針に沿った園舎で、開放感を持った環境となっており、保護者も屋上から保育状況が把握できる施設となっている。屋上は、二つの園舎をつなぎ、無限大を表した円形の全天候型のトラックとなっており、園児同士がぶつからず自由に走



開放感を持った園舎グラウンド



屋上設置された全天候型トラック

考察

ふじおかメソッドによる独自のカリキュラムに取り組み、育児教育に取り組んでいる。これにより、読書力や数字の理解力を深めており、高い保育料にもかかわらず、入園希望が多

れる施設となっている。

く、待機児童がいる現状である。本町においても職員が主体性ややりがいを感じる職場環境づくり、保育に対するさらなる探求心が何より重要であると考え。また、知識・経験を有した特別職的な専門職員の配置が必要と考える。

地方行政調

栃木県 宇都宮市

宇都宮市

調査日

令和5年11月14日

宇都宮市の概要

栃木県の中部に位置し、県庁所在地である。9月1日現在の人口は、513,435人であるが、農業従事者は年々減

少傾向にある。余裕のある認可保育園や、園庭保有率・高校生までの医療費の無償化・第3子以降は、保育料等幅広いサービス利用料を無償化しており、「共働き子育てしやすい街ラソキング2021で、全国第2位を獲得した都市である。

とちぎ子育て支援の5つの柱

●ベビーファースト運動に参画

全ての子育て家庭が安心して子育てできる環境づくり推進

●とちぎ笑顔つぎつぎカードの配布

県民総ぐるみで結婚・子育てを支援し、

カードを提示することにより、協賛店舗・施設の独自のサービスが受けられる。

●赤ちゃんの駅

外出中の授乳・おむつ替え等が気軽に利用できる場所や、公共施設と民間施設の242か所の登録がある。

●宮っこフェスタ

様々な市民が子育て

宇都宮市パンフレットより

全国トップクラス
宇都宮市子育て支援の概要

安心して出産・子育てができる環境
宇都宮市は、子育て家庭が愛情を持って子どもを育て、子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、全力で応援します。

妊婦から出産まできめ細かな支援を行っています！
安心してお子さんを産み育てていただけるよう、不妊治療助成、妊婦さんへの医療費の助成(自己負担なし)や産婦健康診査の16回分(妊婦14回・多胎妊婦は上限なし、産婦2回)の助成、妊娠3か月を過ぎる妊婦への全数産後の実施と併せて本市独自の3万円の支給などによる経済的支援をすことにも、産後におけるケア事業を行っています。

子ども医療費の無償化で子どもの健康を応援します！
高校3年生相当(18歳)までのお子さんが、栃木県内の医療機関等を受診した場合に、健康保険が適用となる医療費(自己負担分)の窓口での支払いが不要です。

年間を通した特機児童ゼロを達成します！
保育を必要とする全ての子育て世代が、保育園などに入所できるよう、宇都宮駅周辺で送迎保育ステーション事業の実施など、保育サービスの充実に取り組みしています。

お父さんが病気の時でも安心！「病児保育送迎サービス」
保育園などで体調不良となったお子さんを、保護者の代わりに迎え、病児保育施設でお預かりします。(送迎前登録)

子育ての強い味方！「宮っこ子育てアプリ」
妊娠・出産・子育ての記録ができ、市の子育て情報を受け取れる「宮っこ子育てアプリ」を配信しています。とちぎ笑顔つぎつぎカードの券面がスマートフォンで表示できるなど、とっても便利です。ぜひご利用ください。

お子さんの情報を一元管理できる
家族共有機能もあるよ!!

ダウンロードはこちら

て・子育てに関する発表を行い社会全体で支え合う気運を盛り上げるイベントである。

●子育てタクシー
保護者の代行としてお迎え・陣痛時における産院までの送迎・乳幼児を連れた外出支援などを行っている。

●考察
5つの大きな柱を参考に、非常に

基に子育て支援を行っており、24時間・365日切れ目なく取り組んでいる。江府町にとって、特にベビーファースト運動は、子どもを産み育てていくための、実現が可能なと考える。また、赤ちゃんの駅・子育てタクシーなど江府町においても取り組みができる事業があり、非常に

新たにミニライスセンターを要望



芦立 喜男

ミニライスセンターの新設について

質問 みちくさのモチ米で作る餅の製造量は、昨年1・3トンでした。今年は2・1トン超を見込んでいます。問題は農家がモチ米の乾燥、もみすりをどこで行うかです。神奈川のミニライスセンターでは、モチ米とウルチ米と混ぜることを嫌い、10月中旬から下旬でしか受け取ってもらえません。しかし、ヒメノモチという品種は8月下旬に収穫しなければなりません。近隣で一番モチ米、餅を販売している新庄村では餅を製造する会社がライスセンターを持ち、モチ米専用のもみすりを行っています。今後モチ米の

動画で一般質問



芦立議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

生産量が増加すれば、町が農業公社に支援金を出し、公社に運用してもらえばよく、町内にミニライスセンターを作ってはいかがでしょうか。

町長答弁

まずは、現状を各施設と議論し、どのように受け入れを行っていくかを一つずつ潰していくのが大事だと思います。さらに増えていくことを見越していくと、製造量が増加する事を期待したいと思っています。しかし、即座にミニライスセンターを作るということには反対します。モチ米や、その加工品を製造しているところは全国にあり、ライバルが多い中で勝ち残り販路を拡大していくには血のにじむよう

な努力と、情報収集、販売戦略などの計画を立てていく必要があるかと思っています。

江美城の整備について

質問 江美城跡地、特に本丸周辺は江尾の下町から久連方面や大山の南壁がきれいに見えます。しかし、令和8年には転作の補助金が打ち切りになってしまいます。その後、耕作放棄地になってしまうことを懸念しています。そこで、本丸跡地を町が購入もしくは借り受けて、ベンチや東屋を置いて公園のようにするのはいかがでしょうか。

町長答弁

最近江美城にスポットが当たって活用されてきたと感じます。しかし、物を作ると、その後の管理の問題が付きまといます。城の形をした資料館も昭和53年に建てられま



本丸跡地から南壁を望む

した。しかし、そこまでは急勾配があり、トイレも設置されてないということを知りながら、新たに公園を作るとなると、もう少し練り上げる必要があると思います。

質問

以前江美城周辺の公園化構想があったと思います。こういう話があったことは把握されていますでしょうか。

町長答弁

その話はあったように思いますが、地権者から断られ計画が断念したという事は、そこまで必要性が無かったということだと思っています。

防災対策について

質問 役場より南で火事

が起こったとき、防災センターの車庫に消防車がある場合は往復で約6分強の時間ロスが出ます。緊急時、1分1秒を争う時に6分は大きなロスと考ええます。しかし、役場に消防車が常駐していればロスの問題は解決されます。その場合、屋外に常駐することになりますが、特に冬には雪が積もり、消防車の雪を下してからの出動となります。今度は雪落としが時間のロスとなります。そこで、役場域内に消防車の車庫を設置することはいかがでしょうか。

町長答弁

消防車に限らず、公用車の車庫が必要ではないかと思っているところですが、ただし、庁舎を建てるときに、事情があり車庫を設置しなかったということがあります。現状に対して、消防車を含めた公用車の車庫をこの敷地内に設置するにはどのようにすればよいかということを検討したいと思っています。

高齢化の進む住民生活に必需品を いかにして届けるのか？



川端 登志一

動画で一般質問



川端議員の一般質問は
動画サイトyoutubeで
ご覧いただけます。

生活必需品の供給にはあらゆる手段を講じるべし！

質問 令和6年度より江尾駅前及びその近隣集落では店舗らしい店舗がなくなり住民生活の困窮度が益々高まること予想される。行政の責務としてそのような状況を克服する政策をとるべきと考えるが町長の考えを問う。

町長答弁 非常に重要な問題として認識しているし、他町より深刻だと考えている。対策として、移動手段を充実したいと思う。バス、タクシーの利用助成に加え、更なる要望をお聞きして、充実度を高めたいと考えている。

質問 各集落に一軒程度委託販売所を設けてはどうか？また、それらの物品の補給に町営バスなども利用してはどうか？

町長答弁 全集落に設けると、40か所くらいになるので、難しいと考える。買い物については「えんちゃん」に見守り支援のお金を出しながら、移動販売を継続していただくことで対応したいと考えます。又、バスで荷物を運ぶことは既に大山町が実施しているようですので、このこと自体は否定するつもりはありません。

質問 所定の見守り活動では訪問が月に1回位、移動販売は週1回程度と伺っているが、その間の

「コミュニティ手段として当該家の玄関先で駄菓子など手にして会話を楽しんでいただければと考える、そもそも、生活必需品とは品物ばかりではない、人の声や心こそ住民生活に必要なものであると考えるが？」

町長答弁

人の声、心、笑顔を届けることが大事なのはその通りです。診療所の先生が往診に出ています、すぐ心強いとの声を聞いていますし、社協さんとかも然りです。そこで今、「出かける役場」というのを実験的にやってみたいと考えています。自分で移動できない高齢者の方を対象に役場から出かけて行って、必要なもののお届け、必要な場所にお連れすることが可能になることを今考えようとしています。

質問 完成する佐川商業施設に向けて役場、診療所防災センターなどから誰でも利用できるモヒリティーを運行してはどうか？

町長答弁

久連トンネルの工事が完成すると、トラックなど町内の交通量が減るのではないかと予想している。それを見越して平場については、自動運転で巡回するようなことも検討し始めてもいいたいと思います。ただ、山の上の方は、自動運転はまだ怖いので人力を活用したいとも思います。

質問 僻地や、災害時用にドローンでの配達、宅

配が可能になるようにしてはどうか？

町長答弁 巷では、いろいろと実証実験が進んでいるようですが、いきなりここに手を出すのはまだ早いという気がします。もう少し様子を見ながら考えたいと思います。

質問 現状を鑑み、ドライバーの養成や高度化を進めドローンの操縦資格や航路の取得を進めてはどうか？

町長答弁 具体化してきたら取り組みたいと思いますが、他の町村に遅れを取らないようにします。職員については通常業務を圧縮、学び直しの時間を捻出して資格取得や高度化を進めたいと思っています。



整備が進む佐川地区商業施設の様子

私のひとこと



江尾 加藤 絵梨香

私の大切な図書館

米 子市の淀江町から江府町に引っ越しして、1月で丸3年がたちました。文字にしてみると、まだ3年しか住んでいないんだと不思議な気持ちになります。元々、結婚する前から仕事で江府町には来ていましたが、特別どこかに行くわけでも友達がいるわけでもないで、ただ通勤のために通り過ぎているだけでした。住み始めても、ご近所さんとお話しを…ということは本当に稀で、お名前さえもよく分からないまま1年近く過ごしていました。

自分にとっての転機は江府町立図書館で働くようになったことです。毎日たくさんの方が来館するわけではないけれど、その分ひとりの方としっかりコミュニケーションを取れるので、顔も名前も覚え会話もできるようになってきました。通勤中に声をかけてもらうことも増え、やっと江府町民になってきたんだなあと実感しています。また、図書館で働く職員として思ったことは、ただ本が好きで本に関する知識があればいいというものではないということですね。特に江府町のような小さな図書館では、コミュニケーションがなによりも大切です。ちょっとした会話から選書（新しく図書館に入れる本）のヒントをいただいたり、困りごとを解決する本を見つけて「こんな本もあるんだね。ありがとう。」

と言っていたたくさんあります。司書さんのおすすめの本を教えてください。と言われるの趣味全開の本（ミステリーやサスペンス、ホラーなど）を、とりあえず一度読んでみてください。「面白かった！もっと読みたい！」とファンを増やすこともありま

す。私はとにかく小説が大好きなので、自分のおすすめの本を楽しんでもらえることも嬉しいし、今後の参考にもなるんです。小さな図書館だからこそ、お一人おひとりにとって身近な頼れる場所でありたい。いつでもふらっと立ち寄って話しかけられる場所でありたい。そう願って、今日も私は図書館の力ウンターでみなさんをお待ちしています！



みんなが集まる図書館



より良き一年になることを希望して新しい年を迎えました。元日早々能登半島地震という大変な年始めとなりました。被災者の皆様には、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。日常の生活を続けられる事に感謝しつつ、自分たちにできる支援を考え実施していきたいと思っています。災害はいつやってくるかわかりません。日頃から防災について考えておく必要性を強く感じます。さて、本町は佐川地区の新しい事業が、ようやく目に見えてきました。今年から江尾駅前の活性化事業も始まります。より早い被災地の復興を願うと共に、本町が希望に満ちた未来への一年になります。よう、町民の皆様のご期待に添える議会活動を改めて決意するところです。本年もどうぞよろしくお願いたします。

森田 哲也

広報公聴常任委員会

- 委員長 阿部 朝親
- 副委員長 川端登志一
- 委員 森田 哲也
- 委員 芦立 喜男
- 委員 加藤 周二